

月刊 ORANGE SUNSHINE 第22号

発行日: 令和4年12月日(土)

第22号では以下をお伝えいたします。

- ◆1回生練習試合
- ◆中四国学生ラクロス新人戦ウィンターステージ

◆1回生練習試合

11/19に九州遠征を行いました。
私たち1回生チームはこれまで多くの遠征を行い練習試合も数多く行ってきました。しかしこれまで1度も勝てたことはなく、プレイヤー自身も最終目標であるウィンターステージでの優勝が本当にできるのかと不安だったと思います。そんな中で臨んだ九州遠征。ついにこのチームで初勝利を掴み取る事が出来ました。この結果はきっとチームにとって大きな自信につながりウィンターステージに向けての練習の活力となったと思います。「勝ちにこだわること」の大切さを知れた遠征となりました。

試合結果

	1Q	2Q	Total
徳島	1	2	3
九州	1	1	2

	1Q	2Q
得点者	#96 山口晴哉 (1回/MF)	#96 山口晴哉×2 (1回/MF)

	1Q	2Q	Total
徳島	2	0	2
合同	2	2	4

	1Q	2Q
得点者	#70 小山新太郎 (1回/AT) #96 山口晴哉 (1回/MF)	-

得点者コメント

1回生MFの山口晴哉です。
ウィンター前最後の練習試合でした。
サマーや練習試合を通して勝ちが少な
かったので、九州遠征で勝てたことは
大きな進歩だと思います。個人として
はこれまでの試合であまり活躍できてい
ませんでした。今回4得点決めること
ができて嬉しかったです。課題も多く
見つかったので、これからも練習を
頑張りたいと思います。

(山口晴哉/1回/MF)



1回生ATの小山新太郎です。
九州遠征の1週間前、岡山大学と九州大学が
練習試合を行い、九州大学が勝ったため、九
州大学に勝つことでウィンターで岡山大学に
勝つプロセスが見えると思い、この日はPL全
員気持ちの入り方や雰囲気等の試合への入り
方が非常に良かったです。はるやの活躍で勝
ちきることができ、初めて掴めた6on6になっ
てからの勝利はめっちゃ嬉しかったです。し
かし、2試合目の合同チームには勝ち切るこ
とができなかったため不安も少し残りました。
また、自分は何もできず課題の残る試合とな
りました。僕の中で1番練習が足りてないと
感じたのはシュートでした。ウィンターまで
残りの時間は少ないですが、どこまで自分の
状態を良く持っていけるかが大事だと思うの
で、もう一度気を入れ直し、大会で活躍でき
よう練習を重ねていきたいです。

(小山新太郎/1回/AT)



コーチからのコメント



1回生コーチの仲田です。

今回の九州遠征は中四国の枠に留まらず他地区にも目を向けて欲しい、また、ラクロスを通じてコミュニティを広げて欲しいという思いから企画しました。

1日目の練習試合は1勝1敗でサマーステージ後、初勝利を収めることができ、ウィンターステージに向けて弾みをつけることが出来ました。また、2日目は合同練習を行い、他大学の練習の雰囲気や他地区の上手い選手たちがどういった意識で練習に取り組んでいるのかを感じ、良い刺激を受けてくれたと思います。宿泊はホームステイをさせていただき、ラクロスのコミュニティを広げることができました。コーチ陣も練習メニューの組み方や指導方針など意見を交換することができ、良い刺激を受けました。

今回の遠征をきっかけに1回生には他地区にも目を向け、武者修行に行ったり、中四国の枠に留まらずにどんどん上を目指してラクロスに取り組んで欲しいと思います。

(仲田一輝/24期生/1回生コーチ)

ギャラリー



◆中四国学生ラクロス新人戦ウィンターステージ

12/3,4と2日間にわたり、玉野スポーツセンターにて中四国学生ラクロス新人戦ウィンターステージが行われました。私たち29期1回生チームは9月の新人戦サマーステージでは、準優勝という結果に終わりました。その悔しさをバネに、この大会に向けてたくさん練習してきました。壁にぶつかりながら、チームメイト同士で切磋琢磨し、コーチから色々な戦術を教えて貰い、個人としてチームとして様々な準備をしてきました。その結果、見事優勝という結果を掴み取る事が出来ました。これは私たち29期だけの力だけでなくコーチを始めとし、上回生や関係者、OBGの方の支えがあっての事です。ありがとうございました。ずっと目標として掲げてきたウィンターステージでの優勝を成し遂げ、2023年3月に開催される全国大会のあかつき杯への出場権を獲得しました。全国の舞台での躍進を目指し、更にチーム力を高めていきます。

試合結果

第1試合	1Q	2Q	Total
徳島	1	2	3
島根・修道	0	0	0

第2試合	1Q	2Q	Total
徳島	1	1	2
香川・愛媛	0	1	1

準決勝	1Q	2Q	Total
徳島	2	0	2
岡山	0	0	0

	1Q	2Q
得点者	#70 小山新太郎 (1回/AT) #98 岡田陽太 (1回/FO/MF)	-

決勝	1Q	2Q	Total
徳島	1	0	1
広島・山口	0	0	0

	1Q	2Q
得点者	#17 大池淳貴 (1回/AT)	-

◆第1試合 VS島根・修道

1Q

笛が鳴ってすぐにFOに勝利し、#98岡田陽太(MF/FO)がブレイク。見事ショットを決め、わずか10秒の間にスコアが1-0となる。得点明けFOではGBとなり、相手#74がGB成功。徳島は守りへ。#11の枠外ショット(1'32)を#5長船優大(G)がトップでケア。#96山口晴哉(MF)まで繋がり、徳島のクリアが成功。そのまま#96山口がショットを打つも相手#66(G)がセーブ。#66のパスミスでGBとなる。#小山新太郎(AT)のGB成功後(3'17)、徳島はOFの体制に入る。そこで#70小山がショットを打つが枠外(3'48)。その後2連続でチェイスに勝ち、徳島のOFが続く。ショットを打つも決まらず1Qは5分を切った。#大池淳貴(AT)のショットが枠外、チェイスを奪われた後、徳大ライド失敗(7'07)。約4分間DFの体制が続いたが守り抜き、#98岡部一郎(DF)のナイスGBでOFへと変わる。しかし#23田村昂大(MF)のショットがセーブされ(9'26)徳島は再びライドへ。試合時間残り僅かとなったところで#鈴木康生(MF)のスラッシングによりマンダウン。そのまま守り切り、スコア1-0のまま1Q終了。

2Q

ハーフ間でのクロスチェックにより、島根・修道がイリーガルクロスであり、徳島のマンダウンも継続中であったため、5on5のイーブンで試合再開。徳島のマンダウンが解除されエキストラの状況の中、相手#66のミスから#70小山がボールを奪い、クリース前で見事にショットを決める(1'35)。スコア2-0。相手#55のオフサイドにより、相手がつーダウンとなる。(3'09)徳島のポゼッション時間は長く、果敢にゴールを狙うも相手Gにセーブされ、なかなか得点に繋がらず。左上から#96山口が1on1をかけ、ショットを放ったボールを右下#1中村梨音(AT)がケアし、裏からのまくりで見事にショットを決めて(8'12)スコア3-0で徳島3点リード。GBが発生し、相手ボールとなるが#33高榮峻一(AT)のナイスディフェンスで、相手のクリアを阻止。その後も果敢に攻め、試合終了。最終スコア3-0、3点リードで勝利。

◆第2試合 VS香川・愛媛

1Q

試合開始の笛と共に#98岡田のFO勝ちで、2試合連続のFOブレイク。そのまま見事ショットが決まりスコアが1-0。開始20秒未満で徳島が1点リードし、好スタートを切った(0'13)。その後のFOも勝ち、攻撃が続く。#96山口、#17大池もゴールを狙うが惜しくも枠外。ラインアウトで相手ボールからのリスタート。しかし、徳島のナイスディフェンスでシュートは撃たせない。#77長田亮佑(DF)のGBで徳島のクリア(4'18)。お互いのミスで激しくターンオーバーが入れ替わる。ここで#5長船のナイスセーブ(8'27)、#96山口のナイスGB(9'05)で徳島の攻撃が続く。果敢にゴールを狙うも追加点を取ることができないまま、スコア1-0徳島大学の1点リードで1Qが終了した。

2Q

#98岡田がFOで勝ち、ショットを打つが枠外、徳島のライド。だが相手のキャッチミスからの#7野島栄人(DF)のナイスGBで徳島がライドに成功そして#98岡田のショットが決まる(2'47)スコアは2-0とリードを広げる。その後徳島のスラッシング(4'36)によりマンダウン。しばらくDFの状態が続く。マンダウンを阻止することが出来ず#77のショットを決められてしまう(5'28)。スコアは2-1。ここでマンダウン解除。#6鈴木もショットを打つが枠外。徳島ライドだが相手のパスミスによりライド成功。そして徳島のクリアが上がりここで徳島のT.O(7'52)。T.O後#17大池、#96山口も積極的にゴールを狙うが、ゴーリーセーブされ、スコア2-1のまま試合終了。最終スコア2-1で香川・愛媛大学合同チームに勝利した。

◆準決勝 VS岡山

1Q

他の試合とは違う緊張感が漂う中、#98岡田のF.Oで試合が始まる。惜しくも岡山にポゼッションを取られ一気に緊張感が高まる中、#89岡部一郎(DF)のチェックにより相手がBD。徳島の攻撃が始まる。ボールをつなぐも、ショットはセーブされる(2'47)。しかしその後、徳島ボールからのリスタートでこのチャンスを逃すことなく、#70小山がショットを決める(3'20)。スコアは1-0。この流れに乗って#34佃琉央(MF)のナイスパスにより#98岡田が得点を決めスコア2-0(4'50)。危ない場面での相手の鋭いショットも、#5長船のスーパーセーブとDF陣の分厚い壁により失点なしで1Qが終了した。

2Q

1Qを2点リードで終えた徳島。2Q開始の笛が鳴ると共に#98岡田が掻き出したボールを#6鈴木が拾い、攻めの体制を作り上げた(0'26)。しかし、キャッチミスによるラインアウトでライドになる(1'43)。このライドは惜しくも失敗し、DFが始まった。ここで相手がショットを打つが、#69山本紘希(G)のナイスセーブにより得点を阻止した(2'48)。その後も徳島大学のDFが続くが、組織的な動きで攻撃を阻止し、相手がショット枠外したボールを#69山本のロングパスでハーフまで繋ぎ、徳島のT.O.の笛が鳴る(6'28)。その後、パスミスによりポゼッションを奪われる。そして、DFが始まってすぐに1分間のマンダウンが起きてしまった(8'00)。しかし、DFの素晴らしいチームワークでマンダウンを阻止し、OFに入るが#1中村のショットは惜しくも枠外(9'56)。その後も一進一退の攻防戦が続く。相手のT.O.を挟み、お互いがむしゃらにボールを追いかける中、徳島大学の勝利を知らせる笛が鳴り、スコア2-0で勝利した。

◆決勝 VS広島・山口

1Q

#98岡田のF.O.で試合が始まる。#0桂匠史(DF)のBDにより徳島がF.O.に勝ち攻撃へ。#96山口、#70小山がショットするも枠外。徳島がチェイス勝ちゴール裏からリスタートし、#17大池のショットによりスコア1-0(1'50)。徳島の得点明けF.O.でまたも#98岡田が勝ち、攻撃中心の試合。#23田村のBDにより相手のクリア。(4'12)お互いのミスによりポゼッションが激しく入れ替わる。耐えの時間が長く続く。左横から相手がショット。#5長船のセーブにより、徳島はきつい時間を守り切り#77長田のランクリによってクリア成功。相手のイリーガルプロシージャーにより徳島のエキストラ(7'40)。#1中村が果敢にショットを狙うも枠外。跳ね返ったボールを相手が拾い相手のクリア。左横からの相手のショットを、#5長船がナイスセーブ。跳ね返ったボールを#96山口がケアし、徳島のクリア。しかし、#5長船のパスミスによりまたもクリア失敗。相手ショット枠外で跳ね返ったボールを#5長船が拾い、ロングパスによりハーフを超えるもキャッチミス。GBが発生したところで前半の1点を守り切り1Q終了。

2Q

ハーフ間のクロスチェックにより相手がイリーガルクロスであったため徳島3分間のエキストラ。#96山口が積極的にゴールを狙うも得点に繋がらない。エキストラを上手く利用できず得点は1-0のままエキストラ解除。相手の攻撃となり、クリーン前で攻防戦が繰り広げられるも#69山本が拾い徳島のクリア。ここで徳島のT.O.(8'07)。#98岡田がショットするも枠外。#1中村のBDでラインアウトし相手のクリアとなりここで相手のT.O.(9'18)。その後#96山口がショットするも枠外。ポゼッションを行き来したまま試合終了のホイッスルが鳴り最終スコア1-0で徳島大学勝利。

表彰者

MVP, MIP 岡田陽太(1回/MF/FO)

FO賞 岡田陽太(1回/MF/FO)

ベスト11
大池淳貴(1回/AT)
岡田陽太(1回/MF/FO)
小山新太郎(1回/AT)
長田亮佑(1回/DF)
野島栄人(1回/DF)

おめでとうございます！



表彰者コメント

1回生MFの岡田陽太です。
5月から1回生チームで練習が始まり、ウィンターステージ優勝という目標に向かって毎日練習に取り組んできて、なかなか試合に勝てなかったり、練習が上手いかず何度も悩みました。しかし毎日練習を盛り上げてくれたり、オフの日も練習につきあってくれたコーチ陣や、共に切磋琢磨してきたチームメイトのおかげで優勝という目標を達成できたと思います。

(岡田陽太/1回/MF/FO)



1回生DF長田亮佑です。
このチームで優勝できたことと、徳大から5人ベスト11に選ばれたことがとても嬉しいです！個人的には、ランクリしてもショットまでいけなかったことや、ラインアウト、クリアでのパスミスなどの反省点も多く、ひなたばかり活躍してて悔しいです。ウィンターが終わった今、もっと上手になりたいってめちゃくちゃ思います。これからは、ゆうたさんに「りょーすけナイディーー！」って言ってもらえなくなるけど、あかつき優勝に向けて冬練頑張ります！

(長田亮佑/1回/DF)



表彰者コメント

1回生DF野島栄人です。
サマーが終わってロング持ってから約3ヶ月が経ちました。難しかった6on6などもコーチや仲間一緒にと試行錯誤しながら練習してミスがあれば修正してを繰り返し、質を高めていきました。結果ウィンターという大舞台で1失点で優勝することができ、非常に嬉しいです。ウィンター1週間前に怪我をしてしまい、1日目は頼もしいチームメイトに助けられました。おかげで2日目は自分の力を出しきることができ、みんなに感謝の気持ちでいっぱいです。優勝もベスト11も決して1人の力で達成できることではなかったと思っています。

(野島栄人/1回/DF)

「ウインターステージ優勝」という目標に向かって、チーム始動時から今まで練習を重ねてきました。何度も挫折しそうになりましたが、みんなで優勝することができてとても嬉しいです。個人としては、ベスト11に選ばれるという目標を達成し、努力の成果を実感しました。これからは上回生チームとなりますが、勝利に貢献できるよう、努力し続けていきたいと思います。

(大池淳貴/1回/AT)



コーチからのコメント

お世話になっております。22年度1回生チームヘッドコーチを務めております、24期の高松(ノスケ)です。9月のサマーステージ準優勝から、ウィンターステージでのリベンジを誓い、見事優勝を達成することができました。ライブ配信だけでなく、現地に駆けつけて頂いたOBGや保護者の皆様のご声援に、大変感謝しております。ありがとうございました。

サマーステージで優勝を飾れなかった原因である得点力や、相手に強く当たってボールを奪い切る力をウィンターまでに克服するため、9～12月は「For the Goal」と「強さ」にフォーカスして練習メニューを組みました。メニューの工夫だけでなく、練習に上回生を合流させたことで、普段の練習から強度の高い練習を行うことができ、ウィンターではその強さが発揮された試合内容となりました。

また、「俺がやる」というチームスローガンに基づき、【俺がリーダー制度】を導入したことで、一人一人がチームの一員であるという自覚や、ラクロスに対する自主性を養えるように促しました。

1回生はたくさんの練習試合や、上回生との紅白戦をこなしましたが中々結果に表れず、モチベーションが上がらない苦しい想いを味わったと思います。それでも諦めずに、同期で自主練に誘い合ったり、辞めそうな部員を引き止めたりする姿を見て、ラクロスの技術だけでなく、4年間やり抜く自主性が身につけているなど感じました。

自分語りにはなりますが、私は自分の代で中四国制覇をしたいという強い想いがあったにも関わらず、新型コロナウイルスの影響で全てが中止されるという絶望を味わいました。しかし、失ったことより現役4年間で得たことの方が大きいことに気付きました。大きな目標に対して努力して成功することの素晴らしさ、苦しい状況でも乗り越えられる精神力や打開力、そしてこれからも共に関わり続けたいと思える多くの人脈など、お金に変えることのできない大切なものを得ることができました。高校時代に何かを全力でやり遂げられなかった世代にも、素晴らしい経験を味わって欲しいという想いから私はコーチを引き受けました。その想いの一部の達成に貢献することができて、非常に嬉しく感じております。

1回生には、新人戦全国大会やリーグ戦に向けてたくさんの強者が控えております。このウィンター優勝は序章に過ぎず、4年間を通してのスタートラインに立っただけです。私たちコーチ陣は29期が4回生になったときに大きな目標を達成してくれることを望んでおります。「俺がやる」という精神を持ち続ければこの子達はやり遂げてくれると信じております。

最後にはなりますが、この1年間を通して経済面や精神面など、たくさんのサポートをして頂いた保護者の皆様に大変感謝しております。大学生は沢山の時間と選択肢がありますが、その中でラクロス部という組織を選んだ彼らの選択に間違いはないと私は保証します。技術だけでなく人間性も成長できるこのチャンスを逃さぬよう、これからもご支援ご指導の程よろしくお願い申し上げます。

また、練習参加するだけでなくOBG基金という形で、徳島大学ラクロス部を支えてくださっているOBGの皆様に大変感謝しております。上回生だけでなく1回生もその恩恵を受け、円滑な練習や指導を行うことができっております。これからOBGの皆様が関わっていない世代がどんどん増えてくるとは思いますが、皆様のご経験された素晴らしい功績を、1人でも多くの部員に味わってもらうため、部の強化のためにこれからもご支援の程よろしくお願い申し上げます。

(高松京祐/24期生/1回生ヘッドコーチ)



ギャラリー



◆第22号作成者

ウインターを終え、改めて自分が29期の一員であることを誇りに思います。優勝という素晴らしい景色を見せてくれた同期、コーチ、支えてくれた上回生やOBGの方々に対して感謝の気持ちでいっぱいです。最高のチームで共に戦えたことは、私の一生の自慢です！1回生チームに区切りがついて寂しい気持ちもありますが、これからは上回生のチームで一生懸命頑張っていきたいと思います。たくさん応援していただき、本当にありがとうございました！

(長井一華/1回/TS)



1回生TSのれいです。ウインター優勝できてとっても嬉しかったです。プレイヤー、ありがとう。色んなことを教えてくださったコーチがいなくなって上回生チームに私たち1年生も合流し大変なことも多くなるかと思いますが、3ヶ月後のあかつきで圧倒できるようにコーチを驚かすためにも成長していきたいです。私たちはまだ始まったばかりなのでもっともっとラクロスについて知っていききたいです。

(三好怜/1回/TS)



◆TEAM SPONSOR LINK



🏠 アイフルホーム徳島
アカウント



🏠 アイフルホーム徳島
人事グループアカウント

